

資料

学校評価に関する教職員の意識に関する調査結果の概要

1. 調査のねらい

本県教職員の学校評価への取組に対する意識の調査を通して、従来から取り組んできた学校評価の成果や課題について明らかにするとともに、今後の取り組むべき方向性を探る。

2. 調査の概要

- (1) 調査方法 質問紙方式
- (2) 調査の期日 平成17年5月17日～6月2日
- (3) 調査対象者及び回答者数 5年目研修受講者 49名(小学校24名、中学校25名)
10年目研修受講者 153名(小学校74名、中学校79名)
20年目研修受講者 283名(小学校160名、中学校123名)

3. アンケート項目

設問1 学校評価の有用感

- (1) 学校評価は、教育活動や学校経営の充実改善に役立っていると思いますか(表1)

設問2 学校評価に関する教職員個々の取組状況

- (1) 学校経営の構想や重点目標をよく理解して学校評価に臨んでいる(表2)
- (2) 授業の充実改善を図るため、児童生徒による授業評価を取り入れている(表3)
- (3) 学校評価の結果をもとに学年経営や学級経営の見直しを図っている(表4)
- (4) 学校評価の結果をもとに授業の充実改善を図っている(表5)
- (5) 教職員による学校評価に積極的(意欲的)に取り組んでいる(表6)
- (5)-1 積極的に取り組んでいる理由(8つの選択肢の内3つまで回答)(表7)
- (5)-2 積極的に取り組んでいない理由(7つの選択肢の内3つまで回答)(表8)

設問3 学校評価に関する意識(図1)

- (1) 学校評価は、学校経営、学年経営、学級経営の改善に役立つ
- (2) 学校評価は、児童生徒の理解に役立つ
- (3) 学校評価は、施設設備の改善や整備に役立つ
- (4) 学校評価は、学校行事等の改善充実に役立つ
- (5) 学校評価は、授業の充実改善に役立つ
- (6) 学校評価は、校務分掌などの仕事の向上に役立つ
- (7) 学校評価は、学校全体で取り組むことで、教職員の意欲の喚起が図れる
- (8) 学校評価は、学校全体で取り組むことで、教職員の共通理解が図れる
- (9) 保護者が学校評価を行うことは、保護者との連携した取組に役立つ
- (10) 地域の人々や学校評議員が学校評価を行うことは、地域の人々との連携した取組に役立つ
- (11) 保護者は、学年や学級の目標がどの程度達成されているか知りたがっている
- (12) 評価の結果を保護者や地域の人々に公表することは、学校への信頼を高めることができる
- (13) 児童生徒や保護者等に、学校の目標、計画や取組について、あらかじめ知らせておくことは大切だ
- (14) 保護者や地域の人々、学校評議員等外部の人たちによる学校評価は大切だ
- (15) 評価結果を集計して、保護者や地域の人々、学校評議員等に公表することは大切だ
- (16) 児童生徒による授業評価は、授業の充実改善を図るため大切だ
- (17) 学校評価を行って学校経営の改善を図るのは、管理職の仕事だ

設問4 学校評価への課題意識

- (1) 学校評価について課題を感じていることはありますか(表9)
- (1)-1 どのような課題を感じていますか(表10)

4. 調査結果

表1 学校評価に関する有用感

	役立っている	あまり役立っていない	わからない
小学校	54.7%	28.3%	17.1%
中学校	55.3%	30.1%	14.6%
全体	55.0%	29.1%	15.9%

表2 学校経営の構想や重点目標をよく理解して学校評価に臨んでいる

	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
小学校	8.8%	72.9%	18.2%	0.0%
中学校	8.2%	68.0%	22.4%	1.4%
全体	8.5%	70.7%	20.1%	0.6%

表3 授業の充実改善を図るため、児童生徒による授業評価を取り入れている

	積極的に取り入れている	取り入れている	あまり取り入れてない	取り入れていない
小学校	2.8%	28.5%	54.2%	14.5%
中学校	5.4%	25.9%	47.6%	21.1%
全体	4.0%	27.3%	51.2%	17.5%

表4 学校評価の結果をもとに学年経営や学級経営の見直しを図っている

	図っている	どちらかといえば図っている	どちらかといえば図っていない	図っていない
小学校	12.3%	68.2%	18.4%	1.1%
中学校	12.4%	56.6%	26.2%	4.8%
全体	12.3%	63.0%	21.9%	2.8%

表5 学校評価の結果をもとに授業の充実改善を図っている

	図っている	どちらかといえば図っている	どちらかといえば図っていない	図っていない
小学校	10.6%	63.7%	23.5%	2.2%
中学校	9.5%	62.6%	23.1%	4.8%
全体	10.1%	63.2%	23.3%	3.4%

表6 教職員による学校評価に積極的(意欲的)に取り組んでいる

	よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
小学校	11.1%	69.4%	18.9%	0.6%
中学校	12.9%	60.5%	24.5%	2.0%
全体	12.4%	64.1%	22.6%	1.0%

表7 積極(意欲)的に取り組んでいる理由
(あてはまる n = 59 どちらかといえばあてはまる n = 310)

	全 体	小学校	中学校
学年経営、学級経営の改善に役立つ	44.4%	37.3%	51.9%
授業の充実改善に役立つ	19.9%	13.3%	26.9%
児童生徒の理解に役立つ	26.4%	24.7%	28.2%
施設の改善整備に役立つ	23.9%	30.7%	16.7%
学校行事等の改善に役立つ	63.0%	66.3%	59.6%
課題が明確になり、解決に取り組める	75.2%	77.1%	73.1%
評価の観点に立った教育実践ができる	12.1%	15.7%	8.3%
その他	0.9%	0.6%	1.3%

表8 積極(意欲)的に取り組んでいない理由
(どちらかといえばあてはまらない n = 109 あてはまらない n = 5)

	全 体	小学校	中学校
評価が改善に生かされない	54.5%	48.8%	58.6%
評価項目をじっくり検討する時間がない	61.6%	68.3%	56.9%
年度当初に評価項目や観点が示されていない	27.3%	24.4%	29.3%
学校運営に参画しているという意識が持てない	19.2%	4.9%	29.3%
自分の授業の改善や学級経営に役立つと思えない	3.0%	7.3%	0.0%
評価表が記名式で率直な意見が述べられない	19.2%	19.5%	19.0%
その他	11.1%	9.8%	12.1%

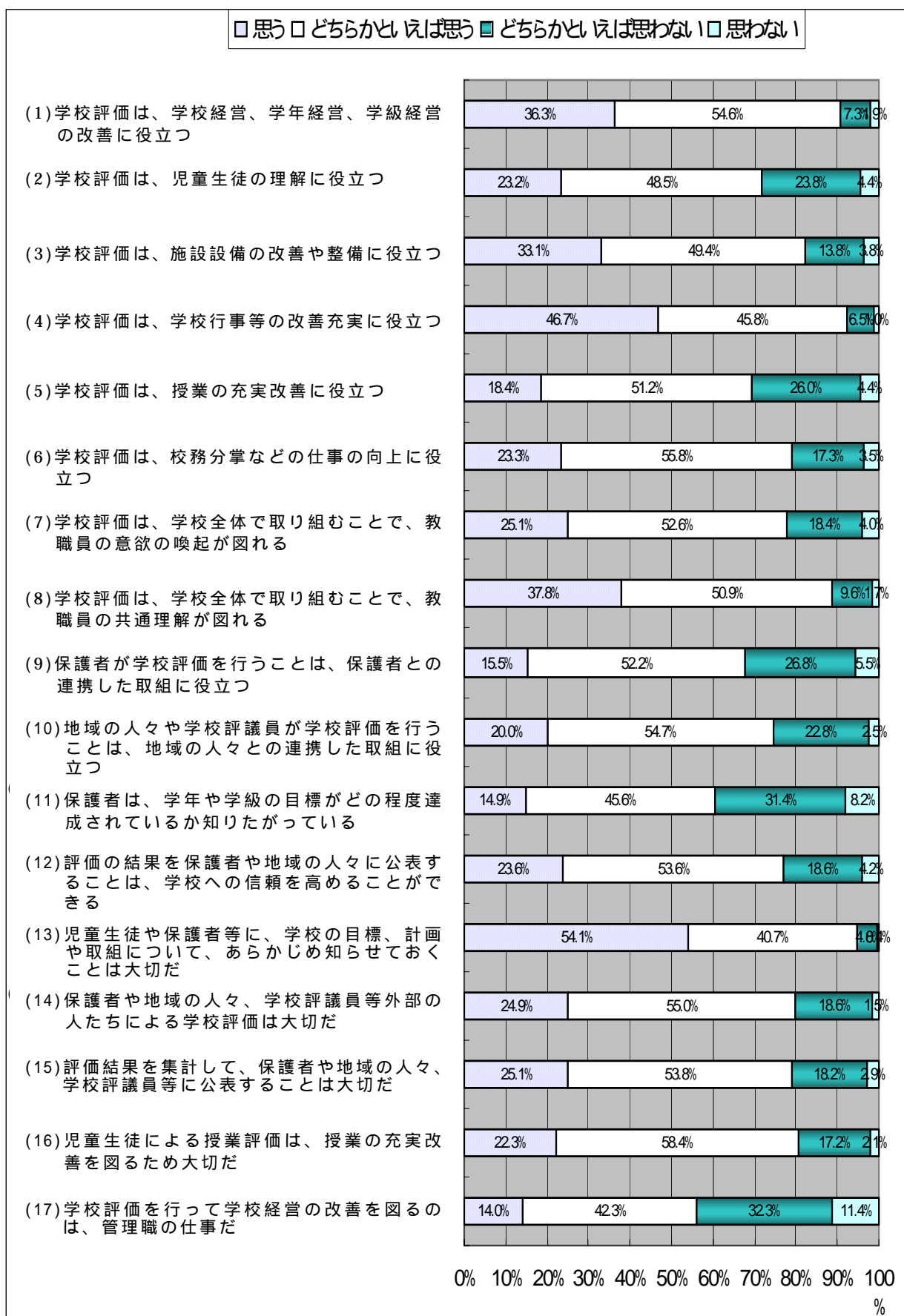
表9 学校評価について課題を感じていることはありますか

	あ る	な い
小学校	76.7%	23.3%
中学校	68.6%	31.4%
全 体	72.9%	27.1%

表10 どのような課題を感じていますか

	全 体	小学校	中学校
評価項目が具体的でない	27.1%	26.8%	27.5%
判断基準が明確でない	56.8%	54.1%	60.1%
評価したことが改善に生かされない	45.8%	44.8%	47.1%
評価計画ができていない	7.8%	8.2%	7.2%
学校評価に取り組む教職員の意識	16.7%	11.3%	23.5%
教職員が協力して改善を図らない	25.6%	20.1%	32.7%
経営方針の説明の仕方	7.8%	7.7%	7.8%
評価結果の公表の仕方	23.9%	27.3%	0.0%
その他	6.1%	7.7%	0.0%

図1 学校評価に関する意識



学校評価に関する参考資料(小・中学校編)
- 信頼される「開かれた学校」づくりを目指して -

発行 平成 18 年 3 月
編集 栃木県総合教育センター 研究調査部
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070
TEL 028(665)7204 FAX 028(665)7303